

# 家を建てる際、第三者に相談できるサービスを作りたい！

## 目 概要

以前は建築業界で営業やインテリアコーディネーターに従事しており、家を建てている最中の友達から、相談をうけた経験があります。

「工務店からこんな提案をされたんだけどどうかな？」とか「どの家具がいい？」などです。工事会社ではなく、第三者の意見がほしくて私に相談したのでは？と思います。それと同時に、近くに建築に携わっている知り合いがいない人たちは困るのでは？と思いました。

私が解決したい問題は、

**「家を建てている時に生じた疑問を解消できずにモヤモヤした工事期間を過ごしてしまう」**  
**「建ててから、もっとこうしておけばよかったな、という後悔が少なからず生じてしまう」というエンドユーザーの悩みです。**

3回建ててようやく理想の家になる、という言葉聞いたことがあります。現代の日本で一生のうちに三度も家を建てるのはあまり現実的ではありません。

生涯年収も減少傾向にあるこの時代に何千万もする家の購入は非常に大きな決断です。

特にこれから家を購入する世代にとっては最初で最後の一回である大きな買い物で後悔をしたくないというニーズはより強くなっていくのではと感じます。

私は、仮説を立てた問題を深掘りするため、実際に5年以内に家を建てた経験のある人10名にインタビューをしました。

情報が多すぎて何を信頼していいかわからない、などといったさまざまな声がありましたが、みなさん少なからず「ああしておけばよかった、これはいらなかった」などの後悔があり、「第三者に間取りなどを相談できればよかったと思う」という声もあり、この問題に確信がもてました。

各社、無料の住宅相談会などはよく行われています。

しかしその目的はユーザーの疑問を解決することではなく、「相談に乗るから、うちで家を建ててね！」といった売り手側のゴールが潜んでいることがほとんどです。

では問題をどう解決できるか？

第三者となる建築士やインテリアコーディネーター、ファイナンシャルプランナーなどが個人の疑問や悩みをネット上で解決してくれるサービスを考えています。

疑問を解決するのが目的なので、営業をされるといった余計なストレスがなく、回答に対してユーザーが評価ができるしくみを作ります。

工事の担当者には聞きにくい事や家づくりに関する疑問を、資格や経験のある専門家個人が親身になって答えてくれます。

このサービスを立ち上げることで解決したいもうひとつのことがあります。

それは、「**経験や資格はあるけれど、建築の業界で活用できていない人たちが活躍できる場所を作りたい**」ということです。

日本建築士連合会が公表しているデータによると、2020年の一級建築士の登録者数は約37万人でしたが、実際に一級建築士として仕事をしている人数は、国土交通省が公表したデータによると登録者数の半分に過ぎません。

インテリアコーディネーターなどの資格に関しても同じことが言えます。

また、建築業界全体として勤務時間が長かったり、休みが少なかったりと、特に施工管理など現場に関わる職に就くと**週休2日はほとんどとれません。**

国土交通省が公表しているデータによると、建設業で週に2日休みが取れている割合は全体の1割以下となっています。

わたし自身も、子育てをしながら建築デザインの会社に転職活動をした際、「子どもがいるならうちじゃ無理だよ」とか、「なんでそんなに早く出産したの?」といった言葉を何度か面接で言われました。

仕事と関係ないのになあと、とてもやるせない経験でしたが、業界の実態についてよく知らない私に「**建築の業界は激務だから子育てとバランスを取るの難しい**」という現実を伝えただけなのかもしれません。


子育てだけでなく介護や定年などさまざまな理由で現場から離れてブランクがある方にも、このサービスが建築の専門家として**活躍できる場**になればと願っています。

 **解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？**


「家を建てている時に生じた疑問を解消できずにモヤモヤした工事期間を過ごしてしまう」「建ててから、もっとこうしておけばよかったな、という後悔が少なからず生じてしまう」というエンドユーザーの悩みです。

 **解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。**

家づくりをしているユーザーが専門家に相談できるWebシステムの開発

 **類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）**


ココナラ、JustAnswer、スーモカウンター

 **有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）**

ココナラは、カバー領域が広く住宅に特化していない、  
Just Answerは法律に長けているが住宅分野の専門家が少ない  
スーモカウンターは対面での相談で、工務店の紹介がゴールとなっている

 **実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）**

家づくりをしているユーザーが、建築士などの専門家に相談する。ユーザーはサービス使用料を支払う。専門家へは報酬をわたす。

 **課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか**

登録してもらう専門家への周知、SNSや広告などを活用



期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

Webシステム開発：100万円



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

家づくりの疑問が解消できる、建った後の後悔を最小限に減らせる。

建築業界の人材リソースの活用（特に子育てや介護をしている方などがどこにいても在宅で相談を受けられる）